

## 防水材用 水性遮熱トップコート

# カナエ遮熱トップ

カナエ遮熱トップは、特殊フィラーを配合した防水材用水性遮熱トップコートです。形成される塗膜は、特殊フィラーの働きにより、太陽光中の近赤外線領域の反射率が一般塗料より高く、夏場における室内の温度上昇を抑える効果があります。

また、耐水性・密着性に優れた柔軟な塗膜であるため、防水材の伸縮にも追従しますので、長期間にわたり防水層を保護します。弊社ポリマーセメント系防水材「ハイボンドコート」のトップコートとして使用する他、ゴムシート等の遮熱性トップコートとしてもご使用できます。

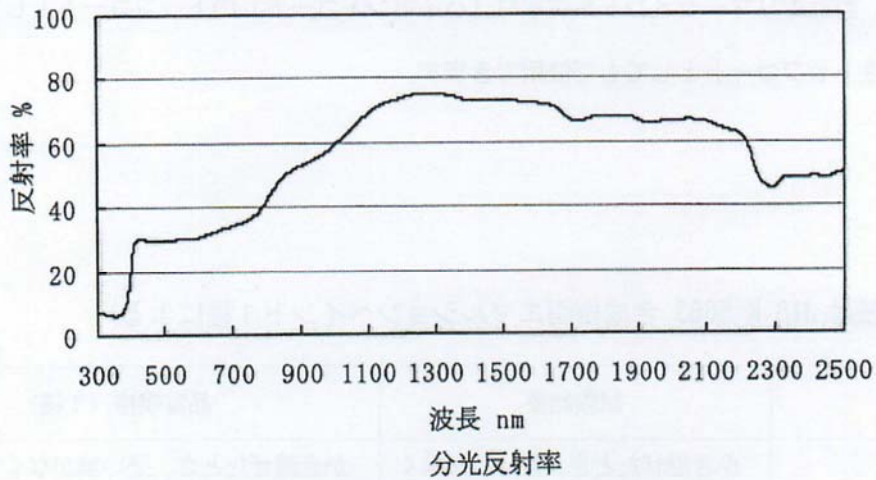
【試験成績表】（試験方法はJIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント1種による）

項目	試験結果	品質規格（1種）
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく て一様になる	かき混ぜたとき、堅い塊がなく て一様になるものとする。
塗装作業性	2回塗りで塗装作業性に支障 がない。	2回塗りで、塗装作業に支障があ ってはならない。
低温安定性（-5℃）	-5℃に冷やしたとき変質しな い。	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	5℃	4時間以内
塗膜の外観	塗膜の外観が正常である。	塗膜の外観が正常であるもの とする。
隠ぺい率 % [白及び淡彩]	97	93以上
耐水性	水に浸したとき異常がない。	96時間浸したとき異常がない ものとする。
耐アルカリ性	アルカリに浸したとき異常が ない。	48時間浸したとき異常がない ものとする。
促進耐候性	1000時間後大きな変質はみ られない。	異常がない。

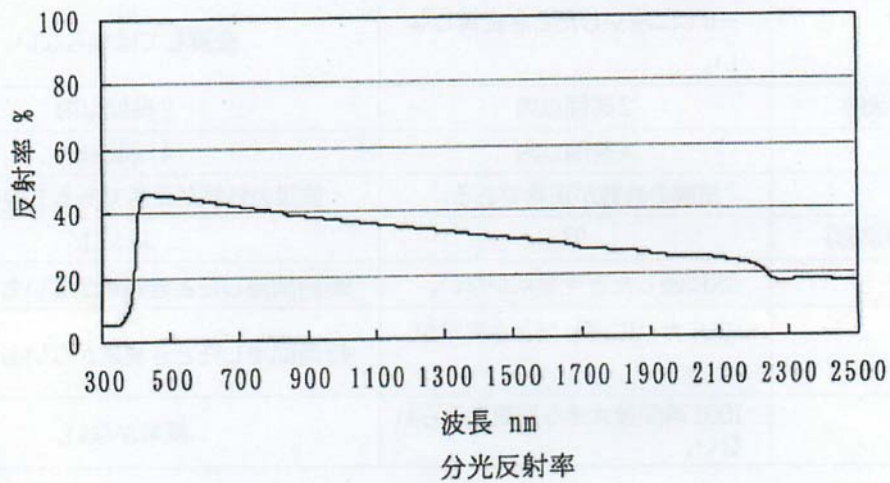
【遮熱性能】

日射反射率測定結果 【測定方法：「JIS K 5602 塗膜の日射反射率の求め方」準拠】

品名	色	明度	日射反射率 (%)		
			780~2500nm (近赤外線領域)	300~2500nm (全波長領域)	300~780nm (可視光領域)
カナエ遮熱トップ(グレー)	N 6	60.2	61.4	43.4	29.9
カナエ遮熱トップ(ライトグレー)	N 8	79.4	73.6	65.7	59.6
一般的なトップコートA	N 7	70.0	34.9	38.3	41.1



カナエ遮熱トップ グレー (N6)



一般的なトップコートA (N7)

## 【遮熱性能確認試験】

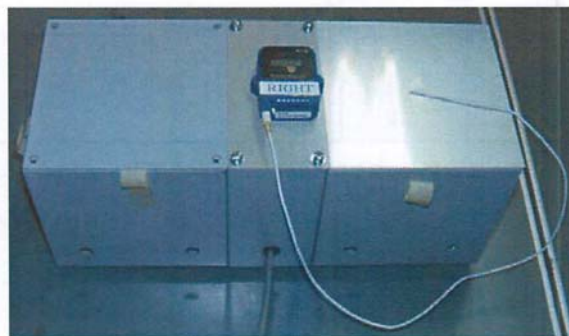
### ○ 試験方法

塗料をアルミ板上に所定の量を塗布・乾燥後、確認試験機に設置し、塗装面にランプを4分間照射し、非塗装面（背面）の温度測定を行った。

### ○ 試験装置



試験装置内部



温度測定時

### ○ 試験結果

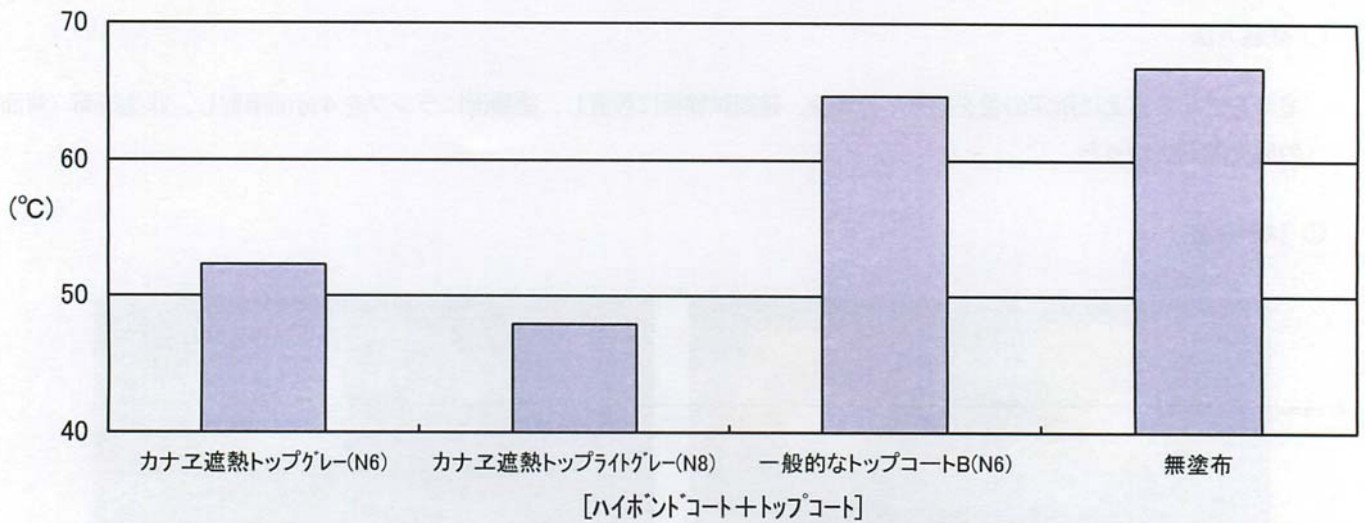
#### 1) トップコートのみ塗布した場合 (wet 0.2 kg/m<sup>2</sup> × 2回塗り)

トップコート	非塗装面（背面）温度
カナエ遮熱トップ（グレー）	52.7℃
カナエ遮熱トップ（ライトグレー）	50.1℃
一般的なトップコートB（N6）	70.9℃

#### 2) ハイボンドコート塗布後トップコートを塗布した場合

(ハイボンドコート wet 2.0 kg/m<sup>2</sup> + トップコート wet 0.2 kg/m<sup>2</sup> × 2回塗り)

トップコート	非塗装面（背面）温度
カナエ遮熱トップ（グレー）	52.3℃
カナエ遮熱トップ（ライトグレー）	47.9℃
一般的なトップコートB（N6）	64.7℃
トップコート無塗布 [ハイボンドコートのみ]	66.8℃

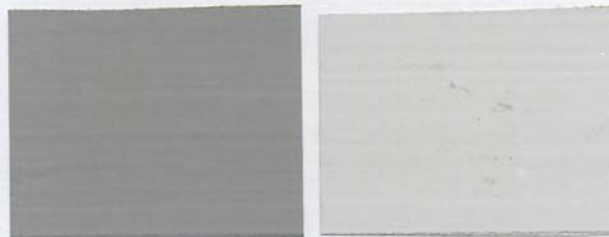


**【標準塗布量】**

0.15~0.20kg/m<sup>2</sup>×2回塗り

荷姿 : 15kg入り石油缶

色 : グレー、ライトグレー



(本紙記載の数値は全て代表値であり、製品の性状並びに性能を保証するものではありません)

ここに記載しました技術資料及び標準処方例等は、当社において十分試験・研究したもので信頼しえるものであると考えますが、材料並びに使用条件等によりかなり相違する場合があります。従って需要各位でご試験・ご検討の上使用下さいますようお願いいたします。

実際の使用にあたってはMSDS（製品安全データシート）等を参照の上安全にお使いください。  
また本文記載の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。



**カナエ化学工業株式会社**

兵庫県尼崎市丸島町8番地の2

TEL 06(6418)1501(代)

FAX 06(6419)2269